

COOP-JOSO News Letter

常総生活協同組合
発行/副理事長 大石
tel:050-5511-3926

2011年度活動テーマ
発酵食品で放射能に打ち克つ健康づくり。人々の協力で被災地復興と大地再生。
発酵と復興

【5/18 千葉地区】

○今最も関心の高い東日本の生産者さんの状況や、放射能についての心配が数多く出され、いつも多くの資料を出して下さっているのに斜めに目を通すだけで、じっくり読まなくてはと反省しました。できたらせつかく会員の方が集まったのだから皆さんの声をもっと聞かせてもらい交流したかったと思いました。

「もろ味を使っての料理」～先日頂いたもろ味を使って鶏肉を漬け込み焼きました。もろみ大さじ1、みりん大さじ1、酒大さじ1、豆板醤小さじ半 色はかなり黒かったですが、味はまろやかで好評でした、息子はフライパンに残った汁にご飯を入れて炒めお弁当に入れて持っていきました。(園山)



桶に入った醤油の発酵途中のもろみを試食する。

○原発のこと、小さいお子さんがいる家庭は、より悩みが深いですね、正しい情報のもとで、行動しようと思えました。

「しょうゆもろみ」おいしかったです。納豆に入れて食べ、「おしゃべり会」の帰り、スーパーの店先で見つけたレシピで「きゅうりとチーズのもろみ風味」を作りました。スーパーのもろみレシピ



しょうゆもろみ(レシピではみそもろみですが・・・)は少なめに、チーズは、家にある普通のプロセスチーズを使用しました。チーズと相性がいいですね。同じ発酵物だからでしょうか?(牧野)



【5/25 つくば地区】

○2011年度総代会を前にこのような集いを開催して下さい。とても有意義であったと感謝致します。参加者の人数は少なかったものの、若いお母さん達の率直な意見や思いを聞かせて頂き良かったです。

放射能の問題はとても深刻で、私達のように人生だいたいひととおりの事を経験してきた年齢の者にとっては、少々放射能汚染された野菜でも、生産者の方々のことを思うと協力したくなりますが、乳幼児や小さいお子様を育てている若いお母さん達には、生産者の方々の情報が入れば入る程、安全な他県の野菜を食べることに後ろめたさを感じているようです。

事務局の方から、若いお母さんが安心して頂ける野菜を企画検討中とお聞きしました。大賛成です。

誰にも気兼ねなく選択できるように早急に取り組んで戴けたら幸いです。常日頃、常総生協で下さっている手作りの発酵食で体温を上げ免疫力を高めて

○今日は皆様お疲れ様でした。小さなお子様がいらっしゃる方も参加されて、すごいなと感心しました。

皆様「食」の事をはじめいろいろ勉強されていてびっくりです。又、生協の方々日頃からしている活動、特にこのたびの震災後は多くの生産者を大切にされ活動されている様子を知ることができました。(日頃のニュースレターも含めてですが)

また私達組合員への配慮も日頃から心がけて下さっていることもよりいっそうわかりました。そして、三者(生産者～生協～組合員)がうまく協力し助け合い、励ましあい、そして思いやりをもちながら成り立っているんだな～とつくづく感じた時でした。いつも心のこもった商品を提供して下さる生産者の方々とその商品を自宅まで届けて下さる生協の方々に感謝です。ありがとうございます。これからもよろしく願います。

“もろみそ”とても美味しかったです。今までキュウリを食べたがらなかった子供が、頂いた“もろみそ”をつけながらパクパク食べました!(小分け用にビニール袋に入っていたのがより手作り感が増して、指でつまみぐいしたのがきっかけでした。)何?コレ?美味しい～(笑)ごちそうさまでした。(栗原)

【行動のご案内】 6.11脱原発100万人アクション

脱原発に向けての行動の一環として、6/11総代会の同日映画『ミツバチの羽音と地球の回転』の上映会を開催します。また「地域や全国の人々と協力・連帯してゆく」という理事会確認にもとづき、「eシフト」への賛同とあわせ、地域では「6.11脱原発100万人アクションinつくば」に賛同します。また常総生協の会員でもある小張さんが声を上げて企画された7月1日の「田中優 講演会 inつくば」に常総生協も共催させて頂きました。(地域の皆さんの仲間が賛同しています)今週チラシを同封しております。みなさんに脱原発への行動を呼びかけます。

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

5/30理事会にて「放射能汚染」「脱原発」について補強討議し、下記を確認しました。

【放射能汚染対策】

消費者も生産者もこれから数十年にわたって否が応でも放射能汚染に付き合わせるを得ない生活・生産を強いられることになりました。この事態を受けて、

- ①汚染された大地(森里海)の除染・低減・再生を生産者と共にすすめます。(土壌検査による圃場汚染マップの作成、除染・移行実験、追跡調査と検証・年次評価)
- ②作物・食品の「スクリーニング体制→本検査体制」で監視とチェック体制を確立します。(3月発注のサーベイメーターが間もなく納品されるのでスクリーニングと本検査の二重業務体制を敷きます)
- ③みんなの宝である子どもたち(母子)を放射能から守る手だてを具体化します。(6月中旬より非汚染地域からの応援を得て「母子用野菜セット」供給ほか。供給担当による簡易測定での「地域汚染マップ」の作成)
- ④放射線による損傷に打ち克つ健康づくりを強化します。(発酵食品や繊維による修復力・免疫力強化、有機農業の基本に戻ります)

【原子力に頼らない安心の社会に向けて】

東海村JCO臨界事故の教訓や、組合員からの六ヶ所再処理施設や柏崎原発、上関原発への問題提起があつたにもかかわらず、原子力発電に組合として正面から向き合せて討議し運動に努力を怠ったことを反省し、

- ①国に対して脱原発方針を政策決定するよう強く求めます。
- ②脱原発・エネルギーの地域自給について茨城県内、全国の方々と協力・連帯して取り組みます。
- ③エネルギー消費にかかわる「くらしの見直し運動」をすすめます。
- ④理事会の下に「脱原発に向けての生協内委員会」(仮称)をつくり活動をすすめます。

5/11～5/25 「総代会に向けての地区別討議」感想より

【5/11 龍ヶ崎地区】



○時が時だけに、とても有益な話し合いでした。

・地震と津波の被害について

被災された生産者さん、業者さんへの職員皆さんの迅速かつ継続的な支援には頭が下がる思いでした。

そのおかげで、次々と知らされるご無事の報に、私たちが救われたように感じました。今日、それらにまつわる様々な苦悩やご苦勞をしり、益々常総生協全体の人間性に感じ入った次第です。

・原発事故について

今回集まった組合員の皆さんが(参加していない方々も恐らく同様でしょう)それぞれ必死に情報収集している様子と被災された現地の様子が分かり、参加して良かったと思いました。

とても複雑ですが、新聞、テレビからは得られない情報に怒りや危機感も募りましたが、逆に確信も生まれました。やはり私たちはアンテナを高くし、手分け共同し、根気強く正しい情報を集め、広く共有し、時には伝えていかなければいけないと。

・チェルノブイリ以降の年月を反省し、行動していきましょう。

☆この悲しみや多くの人々の辛さを忘れない!

☆子供たちに、より安全な未来を私たちの責任で。

(茂田)

○龍ヶ崎地区懇談会に参加させて頂きありがとうございました。

皆さんが日頃実践されたり、勉強されたりしていることを伺い、とても刺激を受けました。

子供たちに負の遺産を残さずに済むよう、原子力発電所をなくしていけるような生活にしていきたいと思いました。電気に頼らず、安さや便利さだけを追い求める、消費社会から自立したいです。

震災後、日頃から少しずつでも実践してよかったと思うこともありました。例えば、炊飯ジャー・電子レンジがないこと、TVを見ていないこと、ご飯中心の生活などです。これらのおかげで、不便さや不自由さを感じる度合いは少なくできたと思います。

紙面で他の方のアイデアを読ませてもらうだけでも、こんな方がいらっしゃるんだなあと励みになりました。これからもいろんな方とつながりをつくっていきたく思います。ありがとうございました。(猪岡)

○今年度も順調に実りの秋を迎え、お米の試食会や味噌作りと例年通り過ごしておりましたら、3月11日東日本大震災が起き、さらに福島原発の重大事故、まさに天地がひっくり返る大惨事となり、今後の生き方を大きく変えなくてはなりません・・・。

が、国民全体があまりにもものん気な感じがしてなりません。本当の事を勉強して行こうという話し合いになりました。現実をしっかりと見すえて発信して行く生協であって欲しいと思いました。(飯野)

○初めて参加しました。食に意識の高い人は他にも意見をお持ちで次から次と話しが盛り上がりアツという間でした。生協活動に基づいた意見の交換が目的だったのだらうと思いますが、意見を聞いているだけになってしまった方も異和感なくとけ込んで、これならみな様も何とか御都合をつけられ参加されてはとも思いました。

赤字が一掃され、これからの生協のあり方で、よりよい形の生協をめざすことができる今、質の高いお仕事される生産者の方々を守るため、生協は、大きく確かな受け皿とならないと私達も私達のめざす良い食を得られないなと感じています。(杉瀬)

○今回の大災害で、人と人の絆の大切さ、有難さを実感しました。又、色々な事を考えさせられた2ヶ月でした。責任を取らない大人達(政府・東電の会長、社長)どの情報を信じればよいのだらうと、パソコンの前から離れる事が出来ませんでした。

でも、生きて行かなければなりません。まず出来る事から一つ一つやって行こうではありませんか! ?なるべく電気を使わぬように、今朝は5時半に起床、土鍋でご飯を炊きました。原発もだいぶ落ち着いて来たので、地震直後に購入した七輪も使い始めたいと思います。

みんなが幸せになれる世の中になれる様に願っています 常総生協の妻 且い復興支援にけ敬服! 幸!

○美味しくて当然、安価でもなく高価でもなく適正価格を選択してきた母上様方のお話はとてもためになり、楽しい時間でした。ネットでも、本でも、メディアでも情報は得られますが、生の声を聞けるのは本当に有難いです。紙と向き合う日々、時々是这样いった機会をつくって頂けると良いと思います。(石毛)

【5/12 取手地区】

○光風台自治会館での懇談会ありがとうございました。毎日の食事のことは放射能汚染のこと電磁波のこと等をさけては通れなくなってしまった現代の生活というものを考えさせられる時間となりました。

しかし生きるということは一步前に進むということなので、情報にふりまわされるのではなく適切な判断をするべきで、いたずらに心配することではないと皆さんの意見を伺い、良識の心地よさを感じました。

本年の取り組み発酵食品は大いに期待しています。自分で作れるものはチャレンジしたいと思っています。(野澤)

○久しぶりに光風台で楽しいひとときをすごせました。企画して下さった生協のスタッフのみな様ありがとうございます。

専業主婦の私にとっては毎日のご飯作りもメンドーと感じてしまう時もあり、このような会で他の組合員さんから”手づくりのごはんが一番”と聞くことができれば”よし自分ももっともっとがんばらなくては!!”と、決意を新にできます。

”もろみ”とても香りが良くおいしかったです。マヨネーズと混ぜ新玉ねぎのスライス、ゆでたジャガイモ、人参、インゲン、のホットサラダはとても香りがひき立ちました。納豆、しらす、長芋、のねばり井もいつもよりワンランク上のどんぶり物になりました。

みなさんのお話を聞いて、おみやげまでいただけてとてもお得な集まりでした。本当に、ありがとうございました。(柴田)

○日程のお知らせ期間が短かったせいか、出席率が悪かったのが残念でした。出席者のほとんどが「常総」の古株の利用者なので、多方の話しに意気投合した次第。

「醤油もろみ」を見せていただいたが、醤油をしぼるのは大変そう。今年を中心テーマ「発酵食品」を大いに進めるべきと一致、世代間で食生活の内容が、ずいぶん違っているようなので、世代間の交流のような場があれば良いという意見があった。(中村)

【5/16 利根地区】



○利根地区の被災状況がよくわかりました。原発事故については、皆同じように感じました。注意して情報を判断し、噂などに影響されないようにと改めて思いました。(久保)

○初参加の人もあり、その点だけでも良かったです。独立当時から生産者を大事にしてほしい点。減少している羽根野台、南ヶ丘方面の組合員増加を課題にしていく点が話し合えた。

不祥事が起きたとき、皆にお知らせしてもらった方が注文が無くなる事が起きないから、十分心してほしい点があげられた。この件は以前からの問題なので本部で検討してもらいたい旨、専務に伝えたが、どうなることかまだまだ時間がかかるかな?(依田)

○久しぶりに生協組合員の方とお会いできて、この大震災後の今、私達に出来ることは何か、改めて考えてみる場になりました。

新年度のテーマは「発酵食品を毎日の食卓に!」と言うことでしたが、こちらの方は、全然話題に上がらず、ちょっと残念でしたが、自分としては気合を入れて発酵食品を使い、腸に力をつけて元気に毎日を暮らせる様、健康管理をして行こうと思っています。(池戸)

【5/16 守谷・つくばみらい地区】



○安心、安全を保証できるかどうか原発の中でできるかは難しいが、可能な限り情報を提供できるようにした方が良い。今日の参加者はその点でまとまったようです。かんたん、はやわざ料理のいろいろのアンケートをとって、常総組合員が”得をした”と思えるような集まりをもてると良い。(丸町)